

令和 6 年度伊達市水道運営審議会

会議要旨

開催日時：令和 6 年 11 月 11 日（月）午後 3 時 30 分から午後 5 時 00 分

開催場所：伊達市役所本庁舎東棟 3 階 庁議室

出席者：①委員：奥本英樹、浅尾真也、松浦敏幸、山田愛、木幡睦人、大橋松太郎、
齋藤昭二、滝澤茂子、坂内健二、物江嘉男、宍戸峰子（敬称略）

②事務局：建設部長、上下水道課長、水道施設係長、業務経理係長、企画経営係職員

1 令和 6 年度伊達市水道運営審議会

（1）開会：上下水道課長（進行）

（2）委員及び事務局紹介

（3）会長・副会長の選出

①会長及び副会長は委員の互選により選出

②委員より、会長に奥本英樹委員、副会長に松浦敏幸委員を推薦

③全委員より「異議なし」との声があり、会長に奥本委員、副会長に松浦委員を選出

（4）議事（議長＝会長）

①水道事業の概要について

②令和 5 年度伊達市水道事業報告について

③令和 6 年度伊達市水道事業計画について

事務局より資料 1-1・資料 1-2・資料 2・資料 3 を用いて一括して説明

【質疑・意見等】

○坂内委員

水道管の耐用年数は何年なのか。

○水道施設係長

管種によって、80 年や 60 年もつと言われている。

○上下水道課長

法定的な耐用年数について、水道管は 40 年になる。

○坂内委員

現在伊達市の管路の耐震化率が 90% 越えであるが、管路の更新を行えば必然と耐震化率が上がるということか。

○上下水道課長

ここで指す基幹管路の耐震化率というのが、あくまで太い管のことを指す。全体延長 630 km のうち、85 km が基幹管路と呼ばれるものであり、こちらが 90.9% 耐震化となっている。今後は、基幹管路より先の小口径のものの更新が必要となってくる。

○坂内委員

令和 5 年度と令和 6 年度の 3 条予算における人件費の差について。また、4 条へ人件費を入れる理由について。

○業務経理係長

人員配置により変わるものである。また、5 年度決算において退職給付費、退職給与引当金が当初予定に比べ減額となったことから金額として差が出ている。4 条予算の人件費については、建設改良を担当する職員分を計上している。

○物江委員

水道管の更新事業について、令和 6 年度が前年度以前に比べて延長が少なくなっている理由について。

○水道施設係長

物価高騰や人件費・諸経費の高騰により計画よりも実施することができなかったためである。

○上下水道課長

補足として、今年度は、塩野川橋配水管添架工事を予定しており、事業費トータルで見た場合に、石綿セメント管更新工事の費用の割合が減った形である。

○物江委員

石綿管と聞くと不安なのだが、衛生的に大丈夫なのか。

○水道施設係長

水道管に石綿を使用しているも、経口摂取に伴う毒性は非常に低く、厚労省や WHO から健康への影響はほぼないと言われている。

○物江委員

衛星漏水調査の実施サイクルについて。

○企画経営係職員

現在来年度から実施できないかを現在検討している事業である。

○物江委員

現在の有収率について

○水道施設係長

87.15%である。

○物江委員

残りの13%どこに行っているのか。

○上下水道課長

まず、漏水の可能性がある。また、水道水の品質の確保を行う上で、塩素の数値を確保するため、末端で排水する場合もある。また、国では水道水の品質管理や漏水等により約15%損失するよう見込んでいる。市においては、今後とも漏水対策については、非常に重要であると認識している。

○奥本会長

令和5年度と4年度の決算の比較について、従来であれば、人件費や委託料等は年々上昇するように思われるが、委託料等の減少の理由について。

○上下水道課長

令和4年度に単年で実施した委託事業があり、そのため比較をすると委託事業費が減ったという形状になる。

○奥本会長

今後の人件費について、上昇トレンドのようなものは見込んでいるのか。

○上下水道課長

実績で説明すると、令和4年度と5年度は課の統廃合により人件費の減少となっている。人勧等も見込み、令和6年度は資料に記載の額を予算として計上している。

○奥本会長

資料2の資本的収支の収入において、減少の理由が企業債と言っているが、国県補助金の減少ではないか。

○業務経理係長

お見込みのとおり、誤りであるため書類について表記を訂正させていただく。

○物江委員

水道水の利用促進を促す上でも、下水の普及率を上げるようなキャンペーンを実施してはどうか。

○上下水道課長

下水道の接続率を上げるため、上下水道課では下水道区域内で接続していない方へ接続勧奨を実施している。昨年度は梁川地区をまわり、今年度は伊達地区を予定している。

○建設部長

水道の利用促進を図るためにも、下水が入っていない地区へは水洗化として合併浄化槽と補助金を活用し普及促進を図りたいと考えている。

○穴戸委員

井戸を掘るときに補助金はあるのか。また、井戸の普及率はどのくらいか。

○業務経理係長

井戸補助については、水道未普及地区を対象としており、1件当たり60万円を限度として実施している。普及率については、把握しかねるが、合併から現在まで125件を補助で実施している。

○奥本会長

本日は水道事業の概要、事業報告、事業計画について説明があった。

今後は、人口減少が進む中で有収水量を上げることが課題となってくる。

事務局には、他の部局と意見交換しながら水道事業の運営を行っていただきたい。

(5) その他

○浅尾理事

管工事協同組合では、伊達市と合同で工事現場の安全パトロールを行った。タイミングが合えば、是非審議会委員の皆様へ工事の施工状況を視察していただき、ご意見を賜りたい。

(6) 閉会：上下水道課長

以上